

メッセージアウトライン

日付	2021年6月13日
単元	サムエル記・2
テーマ	自分で復讐せず、神にゆだねる
タイトル	さばきを神さまにゆだねたダビデ
テキスト	Iサムエル24章、26:1-12
参照箇所	
暗唱聖句	ローマ12:21 or ルカ6:27b~28 or Iテサロニケ5:15

導入	ダビデはサウルに恨まれ、荒野を逃亡する生活をしていました。みなさんだったら、何も悪いことをしたわけではないのに、殺されそうになって、逃げ回る間、どんな気持ちになるでしょうか？
I	<p>ダビデはサウルに復讐しませんでした(24:1-7)</p> <p>A. ダビデはほら穴の中に隠れていました</p> <p>B. サウルがほら穴に入ってきました(サウルに仕返しをするチャンスでした)</p> <p>C. ダビデはサウルの上着のすそを切り取りました(仕返しをしませんでした)</p>
II	<p>ダビデはサウルに説明しました(24:8-22)</p> <p>A. ダビデは、復讐する気がないことをサウルに伝えました</p> <p>B. サウルは、ダビデが王になると言いました</p> <p>C.</p>
III	<p>ダビデは、サウルを神さまにゆだねました(26:1-12)</p> <p>A. サウルは、ダビデを殺すために兵隊を集めました</p> <p>B. ダビデは、サウルたちが眠っているのを見つけました(サウルに仕返しをするチャンスでした)</p> <p>C. ダビデは、サウルの枕もとのやりと水差しだけ取りました(仕返しをしませんでした)</p>
結論	ダビデは、自分でサウルに復讐せず、神さまにゆだねました
適用	あなたは、お友だちや兄弟姉妹に「仕返ししたい」と思ったことはありませんか？自分が相手からイヤなことをされたら、誰でも「やりかえしたい」「相手が先にやったんだ」という思いを持ってしまいます。ダビデは自分で復讐しないで、神さまの手にゆだねました。あなたは、人から傷つけられたとき、ひどいことをされたとき、どうしたらよいのでしょうか？神さまは、すべてのことをご存じです。たとえ、その時、あなたが不公平に感じたとしても、必ず神さまは、正しい人を祝福し、悪を懲らしめられます。神さまは正しいさばきをなさいます。ですから、あなたは、悪をもって悪に復讐する必要がないのです。神さまの前に正しく歩みましょう。そして神さまにお任せすればよいのです。復讐は、必要であれば、神さまがしてくださいます。むしろ、その相手を愛し、良いことでお返ししましょう。
備考	

